

歩いていると思うので、スピードにはそんなに気を付けていききたいものです。

二つ目は、歩行者や車、自転車などの信号無視です。以前、信号が赤にもかわらず、前にいる車が信号を無視して進んでいくのを見ました。その時も右や左からは車が来ていなかったのに、事故などはありませんでした。もし、車が来ていたら大きな衝突事故が起きていたかもしれません。また、歩行者も渡っていかもしれません。このように先のことを考えると、信号無視も絶対にやってはいけないことです。歩行者や自転車の信号無視は、実際に見たことはないですが、ニュースなどでたくさん目にしているのでもとても怖いことだと感じました。これからは信号をしっかりと見て、信号が青でも左右を確認して道を渡りたいです。

三つ目は、信号がないところの道の渡り方です。このようなところでの事故もたくさんニュースで見ることがあります。車が来ているにもかかわらず飛び出して事故になったり、車を運転している人が歩行者を見ていなくて車で歩行者を跳ねる事故が起こったりさまざま事故が発生しています。私も、信号がないところでも、道を渡ることがあるので、安全に気を付けて渡りたいと思います。今後、私がこのような事故に巻き込まれないようにするために、左右をしっかり見て渡ることに気を付けたいです。

このように、母の一言から過去のことを振り返ってみると、今まで生きてきた中でたくさんの危険なことを目撃していたと考えられます。事故で命を落としてしまったり、大けがをしてしまったりすると、とても悲しいです。ニュースでこのようなことが放送されると、知らない人のことでもとても悲しくなります。だからいつも笑っていられるように、事故

にだけはあわなないように注意して生活していきたいです。

では、私が今事故にあわないで普通に暮らしているのは、自分自身で気を付けているからだけなのではないでしょうか。いいえ、そうではありません。振り返ってみると町の人たちも協力してくれていることに気が付きました。歩いているとき、車のスピードを落とすしてくれたり、少しよけて走ってくれたりすることがよくありました。また、道を渡るうとしていたときに、車が来たので止まったのですが、笑顔で「どうぞ」というように手で合図を送ってくれて、先に渡らせてくれたこともありました。このような優しさがある町だからこそ、交通死亡事故ゼロの日が六千日以上も続いているのだと思います。町の人たちへの感謝の気持ちを忘れず、これからも藤里町で死亡事故が絶対起こらないようにしていきたいです。

「自分の命は自分で守る」という意識をいつも頭の中に入れて、交通ルールを守り、そして周りの人へ感謝や思いやりの気持ちも大切にしながら、平和な日々を過ごしていきたいです。

優秀賞

『交通事故を防ぐために』



市川陽菜さん

藤里町では、死亡事故ゼロの日が六千日以上続いています。今、テレビで交通

事故のニュースがたくさん流れる中で、死亡事故ゼロがこれだけ続くことは、とてもすごいことだと思います。これからも続いてほしいですが事故はいつ、どんな時に起こるか分かりません。では、交通事故を防ぐためにはどうすれば良いでしょうか。私は三つのことに気を付けたいと思います。

一つ目は、車が少なくていいからといって油断しないことです。私は都会に行った時、車の多さにびっくりしました。それに比べて、藤里町はとも車が少ないです。だから少し油断してしまうこともあると思います。

私は通学路で見通しがあまりよくないところを通ります。ある時、「ここいつも車通らないから、まあいいか」とよく確認せずに渡ろうとしたら、車が来て、目の前を通っていききました。その時はとてもびっくりしました。あの時、少し早く渡っていたら事故を起こしていたかもしれません。そう考えるととても怖いですが、このように、少しの油断で、事故が起こってしまうかもしれません。だから油断せず、辺りを気にしながら過ごすことはとても大切だと思います。

二つ目は、「自分はいったい事故にあうかもしれない」と頭に入れておくことです。ささいなことですが、そう思うことで、「じゃあ辺りに気を付けよう」とか、「意識しよう」と考えることができると思います。自動車を運転している人は、「事故を起こしてしまいかもしれない」と考えること、歩行者は「事故にあうかもしれない」と考えること、自転車で乗る人は起こす側にもあつ側にもなってしまうことがあるので両方を頭に入れておくことが大切だと思います。運転者だけが悪いわけではない事故もあるので、両者とも意識をすることで、少しでも事故

を防げるのではないかな、と思います。

三つ目は、交通ルールをしっかりと守ることです。「そんなこと」と思うかもしれませんが、これはとても重要だと思います。交通ルールは私たちが安全に過ごすためにあるルールだと思います。交通ルールは、小さいころから守るように言われてきて、当たり前かと思いますが、それだからこそおろそかになりがちだと思うのです。交通ルールを守らない人を、私は見たことがあるし、テレビでも飲酒運転をしたり、信号無視をしたりして事故を起こした人を見ます。今年のスロウガン、「急がずにマナーとゆとりで交通安全」のように、交通安全のために、交通ルール、マナーをしっかりと守ることが大切だと思います。

私が気を付けるべきだと思う三つのことは、全て少し意識すればできることです。少し意識することで、事故を防げるかもしれないのです。私も最近この三つのことを考えて過ごすようにしています。事故が起こる原因はたくさんあり、交通安全のためにできることはまだまだたくさんあるかもしれません。でも、その中で私は、この三つがとても大切だと思います。

一人一人の命はとても尊いものです。交通事故はその命を傷付けたり、時には亡くしたりするのです。そんな怖いことに巻き込まれたくないし、私は絶対起こしたくないです。だから交通死亡事故ゼロの年が何年も続くこの藤里町をとてほこらしく思います。藤里町は、これから一人一人が「事故を起こさない」という意識をもって、交通死亡事故ゼロがずっとずっと続いていってほしいです。全県、全国、全世界……。交通事故が今よりずっと減ってほしいです。交通事故、交通死亡事故がこの世